

# 松江市議会

# 松政クラブだより

発行日／平成17年12月20日  
発行所／〒690-8540  
松江市末次町86  
松江市役所内  
編集者／安部吉輝

## 新生松江市の発展に一意専心



松江市議会 松政クラブ  
会長 比良幸男

冠雪の便りが届く季節となりましたが、市民の皆様には、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今年の三月三十一日に、松江市と八東郡七町村との新設合併で新生「松江市」が誕生いたしました。

この合併に伴い四月の市議会議員選挙におきまして、新しい議員四十八名が選出され、我が松政クラブも会員三〇名を有する市議会最大会派として産声をあげたわけであります。

松政クラブは松江選挙区の議員十七名と八東郡選挙区の議員十三名の保守系議員で構成しております。

負託に応えていきたいと決意を新たに致しております。

この度、新生松江市は、「山陰をりードする経済・生活・文化の中核都市」の創造という新しいまちづくりを目指してスタートを切ったわけであります。

しかし、新松江市の誕生までには多くの産みの苦しみがありました。合併のあり方など様々な意見がある中、五年半余りの長い年月をかけ、市民の皆様のご意見を伺いながらより良い合併になるよう、我々はそれぞれの立場で最大限の努力を積重ねてまいりました。

この合併による第一に新市の融合には、なによりまず第一に新市の融合の立場で最大限の努力を積重ねてまいりました。しかし、選挙結果を受け、基盤が強化された小泉政権は、内外に山積する政治課題に積極的に取組まれ、構造改革の歩を速められることを期待したいと思います。

しかし、その改革も、決して都市重視の改革ではなく、地方の思いにも大いに目をむけた改革でなければなりません。我々は国の政策に対しても是々非々の立場で、地方の声を中央に届けていかないと考えております。

今後とも我々の活動につきまして、熱心な質議応答が重ねられました。

## 平成十七年度 部会別視察 「一問一答方式」等を学ぶ



川崎市は人口二三〇万人の政令指定都市であり地方行政とはいえるそのダイナミズムに飲み込まれるではあります。委員会の運営など参考にできるものがありました。藤沢市では「藤沢市総合防災センター」を訪問し、市民の生命・財産を守るために先駆的に展開されている様子をつぶさに見学させてもらいました。稻城市は東京の南西部に位置し人口は七六〇〇〇名でぶどう・梨などを名産とする緑豊かな小都市ですが、議会の運営は進んでおり「一問一答方式」の採用・インターネットによる議会中継と、目を見張るものがありました。越谷市は三十万人を有し、十四地区の活動は夫々特徴を示すより趣向は凝らされていましたが、松江市でも既に行われているようなものもありました。しかし、核となる公民館のようなセンターになる施設のあり方が異なり、単純には比較できないように思いました。

特に稻城市での「一問一答方式」については、早速九月議会において試行として行われましたが、何を質問してどう回答しているのかが即座に解るので、「興味深くテレビ中継を見た」と、大方市民の皆様には好評であったと思います。これより一層研究を重ね、開かれた市政推進に役立てたいものと思います。

我が愛する郷土「松江」の発展のため、松政クラブ一丸となって、市民の皆様のいたしております。しかし、我々松政クラブが愛する郷土「松江」の発展のため、その間、様々な意見があることも承知いたしております。しかし、我々松政ク





# 松政クラブ 市政懇談会 開催

■ 経済部会(部会長 福間俊夫)  
10月24日(月)

● テーマ  
「観光入り込み客1000万人を目指して」

\*商工会議所、商工会、観光協会、旅館組合の18名の皆さまと

松政クラブは、市の新年度予算に市民の皆さまのご意見・ご要望を少しでも多く採り入れようと、本年も市政懇談会を開きました。

総務、教育民生、経済、建設環境の四つの部会に分け、市民の皆さまの声をお聞きしました。

■ 総務部会(部会長 田村昌平)  
10月19日(水)

● テーマ  
「新生松江市の施策に望むこと」

\*旧市内町村の自治会代表18名の皆さまと

1 行財政改革を着実に推進し、効率的な市政運営と財政の健全化に努力されたい。

2 職員の人事管理については、新市における高まる行政ニーズに対応するため、資質の向上に努め、適材適所の配置を旨とし、適度な本支所間の人事交流にも配慮し、職務の執行に当たつて遺漏なきを期されたい。

3 情報基盤整備を着実に実施をされたい。(島根町・宍道町・八雲町)  
4 支所物品購入には、支所周辺の小規模事業者に配慮願いたい。(宍道町)

5 支所建設促進(八雲町)  
6 大橋川問題

7 生涯学習推進の強化に繋がる

地域公民館の存続と整備(美保関町・八雲町)

8 地域福祉の充実と支援強化(八雲町)



■ 建設環境部会(部会長 加藤富章)  
10月26日(水)

● テーマ  
「新市発展を目指す、建設関連業界の今後の課題と問題点」

\*商工会議所、建設及び建築業関係者、電気及び管工事業関係者の20名の皆さまと

1 (仮称)古浦・西長江線の早期実現について(鹿島町・古浦自治会)

2 一般県道御津・東生馬線整備の早期完成について(鹿島町・御津区)

3 主要道路、松江・鹿島・美保関線線整備促進(玉湯町)

4 県道八束・松江線・大根島線の早期実施(島根町・野井工区)

5 図書館と公民館の複合施設(宍道町)

6 地域まちづくり事業支援(美保関町)

7 西保育所 ⇄ 北浦入口(三叉路)備促進線(八重垣神社→平原)

8 県道八重垣神社→八雲の整備促進(八重垣神社→平原)

9 下水道未普及地区の早期解消(美保関町・八雲町)

10 急傾斜地崩壊対策事業の促進(八雲町・美保関町)

11 道路愛護団活動補助金の継続(八雲町)

12 河川愛護団活動補助金の継続(八雲町)

13 境・美保関線道路改良促進

14 片江 ⇄ 七類間改良促進(片江地内拡幅改良・篠子・惣津)

15 ラブの早期改良(美保関町)

16 森山 ⇄ 下宇部尾間のS字カーブの早期改良(美保関町)

17 主要生活道路の根本的な除雪対

期実施(八雲町)  
○八雲国際演劇等支援

2 農林業振興の支援(八雲町)  
○集落営農の推進支援

3 農林振興について(玉湯町)  
○集落営農推進の支援

4 農業後継者育成  
○農業経営の効率化推進支援

5 農業の支援(宍道町)  
○中小企業グループ活動への財政支援

6 製造業の研究開発と販路開拓等への支援(宍道町)

7 製造業の支援(宍道町)  
○新市全体を包括した商業活性化に向けた支援

8 生活バス路線の確保について(島根町)  
○現在は旧町村単位で路線の運行がされているが、非効率的な運行であり交通体系の見直しを望むものである。

9 障害者の「市営バス運賃無料制度」の導入拡大

10 交通体系の見直しを望むものである。  
○美保関町町内沖の既存の沈船

11 漁礁の保全

12 生活バス路線の確保について(島根町)  
○現在は旧町村単位で路線の運行

13 新市全体を見極めたバス路線を要望する。(宍道町、美保関町、島根町)

14 生活バス路線の確保について(島根町)  
○現在は旧町村単位で路線の運行

15 新市全体を見極めたバス路線を要望する。(宍道町、美保関町、島根町)

16 生活バス路線の確保について(島根町)  
○現在は旧町村単位で路線の運行

17 新市全体を見極めたバス路線を要望する。(宍道町、美保関町、島根町)

18 生活バス路線の確保について(島根町)  
○現在は旧町村単位で路線の運行

19 新市全体を見極めたバス路線を要望する。(宍道町、美保関町、島根町)

20 生活バス路線の確保について(島根町)  
○現在は旧町村単位で路線の運行

21 新市全体を見極めたバス路線を要望する。(宍道町、美保関町、島根町)

22 生活バス路線の確保について(島根町)  
○現在は旧町村単位で路線の運行

